

令和5年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立誠和福祉高等学校)

目指す学校像	福祉やボランティア等の人との関わりを大切にする教育活動を通して、人間性を磨き、地域や社会を支える力と心をもった生徒を育成する。
--------	-----------------------------------------------------------------

重点目標	1 生徒の「考える力」を育て、確かな学力を身につけさせる。 2 思いやりの心と、自主・自律の態度を養う。 3 高い志を持ち、社会に貢献できる人材を育成する。 4 広報活動を充実させ、地域社会において福祉教育への理解を広める。
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	10名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	10名

学校自己評価					学校関係者評価		
年度目標					実施日 令和6年2月2日		
部	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
					達成度	次年度への課題と改善策	
1	○観点別学習評価を活用して、生徒が主体的に学び、学力が向上するよう取り組んでいる。 1人1台端末環境下での授業改革が必要である。	○生徒の学習意欲の向上及び基礎学力の定着	①研修会、授業見学、授業改善に向けたアンケートの実施 ②各系列とコースにおける資格取得・検定・実習・成果発表等の充実	①アンケートで「主体的に学習に取り組むことができた」と回答する生徒の割合が80%を超えたか、「授業が理解できる」と回答する生徒の割合が80%を超えたか。 ②各系列とコースにおいて、資格取得および検定合格を含めた進路指導計画が実施できたか。	授業改善により学力向上を生徒に実感させた。 ①Google Classroomのアンケートフォームを用い、全教科で1学期末に授業評価を行い、授業改善に活用した。 ②昨年度の総括を踏まえ、観点別学習評価に基づく評価・評定の基準を見直し、1学期より改善を図った。 ③生活調査で83.4%の生徒が「主体的に学習に取り組んだ」と回答した。前年度80.1%に比べ、3.3%増加した。授業を理解できると回答した生徒は94.3%であった。(前年度は94.5%)	B	学力向上に向けた観点別学習評価が1～2年次で実施されることにより、生徒の主体的な学びが促進されつつある。全年次での実施に向け観点別評価のノウハウ確立にむけ教科の枠を超えて学校全体で取り組む必要がある。 ICTを活用して授業を行う教員も増えてきた。1人1台端末が十分活用されるような授業実施に向け、教科の枠を超えたノウハウの共有が必要である。
2	○福祉専門高校の特徴を生かした授業、心の教育が充実させられるよう取り組んでいる。 自主・自律の態度を養うため、身だしなみやマナー等の指導が課題である。	○福祉専門高校の特徴を生かした、心の教育および自主・自律を促す指導の充実	①人との関わりを大切にし、思いやりの心を育てる人権教育、特別活動の充実 ②基本的生活習慣の確立 ③特別支援教育や教育相談の充実	①人権意識を高め、思いやりの心を育てる指導を日常的に行なったか。 ②アンケートで「身だしなみ・登校マナー等のルールが守れた」と回答する生徒の割合が90%を超えたか。 ③特別支援教育推進委員会や教育相談員会を定期的に開催し、関係機関と連携してSCやSSW等を効果的に活用できたか。	生徒指導、教育相談、特別支援教育の充実を図った。 ①今年度からコロナの影響が減少し、ボランティア活動や部活動、生徒会活動が活発になってきた。授業や学校行事等を通して人権意識を高める指導を行った。 ②登校指導や授業中の巡回指導等により、授業規律を徹底した。生活調査では97.4%が身だしなみのルールを、98.8%が交通ルールを「守れた」「まあまあ守れた」と回答した。 ③隔週配置されたSCやSSWを効果的に活用し、関係機関と連携して支援できた。	A	福祉専門高校の特徴を生かした授業や現場実習を積極的に進め、心の教育を一層定着させる。定期的な通学路における登下校指導を継続し、近隣からの交通マナーの苦情件数をゼロに近づけた。身だしなみやマナー等の徹底について、生徒と教員のギャップを埋める必要があるのではないかと。 校内教育相談体制の更なる充実のためSCやSSWによる支援を効果的に活用して、次年度も多様な背景を持つ生徒を支援したい。
3	○コロナ禍に影響されず、各学科・各系列の特色を生かした進路指導を行っている。生徒の進路希望を実現させるため、資格取得や検定合格実績のより一層の充実が求められる。	○生徒の意識向上、資格取得・検定等の受験促進をさせる進路指導の充実	①各系列とコースにおける系統的な進路指導の充実 ②資格取得、各種検定試験の受験等を通じた進路意識向上 ③進路指導部・学年・教科・学科が連携した進路指導の実施	①アンケートで「進路意識が高まった」と回答した1年生の割合が、90%を超えたか。 ②アンケートで資格取得や検定受験に「取り組んだ」「まあまあ取り組んだ」と回答する生徒の割合が80%を超えたか。 ③就職内定率と進学合格率が共に前年度を維持できたか。	生徒の進路意識を高める取組を進めた。 ①で93.6%の生徒が進路意識を高めることが「できた」「まあまあできた」と回答した。前年度90.0%に比べ、3.6%増加した。 ②生徒アンケートで79.6%の生徒が資格取得や検定受験に「取り組んだ」「まあまあ取り組んだ」と回答した。前年度75.6%に比べ4.0%増加した。 ③就職内定率97.6%、進学決定率95.2%である。(1月25日現在) ④就職支援アドバイザーを効果的に活用し、生徒の進路相談対応の充実を図った。	B	キャリア教育に向けた進路ガイダンス等の実施、企業見学の機会確保、Handy進路室の活用など進路指導や支援方法の改善を継続したい。 両学科の系統的な進路指導の体系化の検討は課題である。資格取得、検定合格に対する生徒の意識が向上しているため、各コース、系列ごとに3年間の進路指導計画に効果的に取り込みたい。介護福祉士国家試験について全員合格に向け、引き続き指導する。進路指導部を中心として学年・教科と連携し、丁寧な指導を次年度も継続していく。
4	○本校の教育活動を広く県民に紹介できるよう組織的に広報活動を行っている。 志願者確保のため、効果的な生徒募集戦略の構築が急務である。	○本校の特色・魅力を発信する体制の構築	①ボランティア活動等地域との連携を通じた本校の取組発信 ②学校説明会や受験フェア参加等の生徒募集活動の充実	①広報活動を充実させ、本校の取組をより多く発信できたか。 ②組織的に生徒募集活動を行い、中学生やその保護者の本校理解が進んだか。	本校の特色を広く情報発信する工夫を行った。 ①彩の国教育週間における学校公開の実施やHPを頻回に更新した ②学校説明会や体験授業の計4回実施した。春日部・久喜等の各中学校で上級学校説明会や出前授業等を行い、本校の教育活動を紹介した。 ③生徒募集委員会を中核として全教職員の協働による組織的な生徒募集を推進し、中学生や保護者等に各学科の魅力を分かりやすく効果的に情報提供した。	B	中学校訪問、各種イベントや上級学校説明会、出前授業等の回数を確保して、本校の教育活動の紹介を広く県民に発信するよう組織的に生徒募集活動を行っている。志願者確保は例年以上に厳しい状況であるため、志願者確保につながるよう中学生や保護者への本校の特色、魅力発信の在り方を改善する必要がある。

学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営に関しては一定の点数をクリアしていると思う。今日の学校評価懇話会で参加した生徒がきちんと意見を言えるということは、学校運営がうまくいっている表れであると思う。(学校評議員) ・PTA会長として先生方と接する機会が増え、先生の熱意を感じる事ができました。(学校評価懇話会委員)
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・多感な時期にいろいろな生徒がいる環境で思いやりの心や自主・自律の態度がしっかりと養われていると思う。(学校評議員) ・東日本大震災を契機に旧城西高校へ避難している生徒を受け入れた後から生徒指導が柔軟になってきたと思う。(学校評価懇話会委員) ・保護者アンケート等で厳しい意見が出るのはネットでの実施が影響しているのではないかと。大人から見て「不真面目な生徒」も、まじめに取り組んでいることはいろいろあります。(学校評価懇話会委員の生徒)
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育等に邁進して頂いてありがとうございます。ただ、もう少し福祉現場の雰囲気、気配り、どこに重点を置くか等を、現場の人に来て頂いて伝えて頂きたかったです。(保護者アンケート) ・色々な考えのある時代ですが、子供達を自信を持って送り出せる教育を宜しく願います。(保護者アンケート) ・楽しく学校に通い福祉教科の勉強をしています。実習等大変ですが頑張っているためこれからも支えて行きたいと思っています。(保護者アンケート)
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県で唯一の福祉が専門に学べる学校で、施設も充実していて資格も取れる、誠和で学べる子供がうらやましいと思う位です。その分専門分野が多く、勉強も大変だと思いますが、良い先生にもめぐり会っている様で、褒められた事、学校で学んだことを報告してくれています。通学距離が長くて毎日大変ですが、学校が楽しいと思えて、充実して過ごせる場所であって欲しいと願っています。(保護者アンケート)